

## ⑥好きな葉っぱと嫌いな葉っぱ

2012年8月 執筆

ご存知キリンは草食動物です。草食動物といってもグレーザーと呼ばれる主に草を食べるものと、ブラウザーと呼ばれる葉を食べるもの、そしてどちらも食べるものに分けられます。

キリンはもちろんブラウザーなので葉っぱが大好きです。お客様の中には葉っぱなら何でも食べると思っている方がいらっしゃいますが決してそうではありません。今まで30種近くの樹木を与えて来ましたが、その食いつりを見てまたまたいろんな疑問が沸いてきたのであります……。

今、一番疑問に思っていることは、「キリンは何をもって味の好みを決めているのだろうか？」ということです。

彼らは同じ種の樹木でも個体によって好みが違ったり、季節や部位によって違ったりするのです（葉はよく食べるが樹皮は食べないとか、反対に葉を落として樹皮を懸命にかじるとか、葉も樹皮も食べずに体をこする道具にしたり……といった具合）。

一般に、苦みの素であるタンニンは植物が自己防衛のために出す成分で、食べられるとさらにタンニン量が増えるだけでなく、そのまわりにある木々もタンニンが増えると言われています。動物たちにとってタンニンは好まない成分であるということになります。が、私はキリンたちが葉を食べる様子を見ていてタンニンが苦手だとは思わないどころか、むしろ好んでいるように思えたのです。しかし、ある論文によるとキリンはタンニンの少ない葉を選んで食べているといいます。う～ん……本当か？

そこで私が考えたのは、単にタンニンではなくそれよりもおいしい味を求めているのでは？ということです。実際、タンニンが多くてもタンパク質がそれよりも多ければそちらを優先して食べるという調査結果もあるようです。

ハウレンソウや小松菜、キャベツなどヒトが食べる植物は成分表がありますし、家畜のエサとなっている牧草なども成分表があって、そのものの成分がわかりやすいのですが、なにせトウネズミモチやシラカシ、ニセアカシアなどを食べているヒトはいないので成分がよくわからないのです。

牧草には主にイネ科とマメ科があります。反芻獣は一般的にマメ科植物を与え過ぎるとガスがたまって鼓脹症になると言われています。しかし、おなじ反芻獣であるキリンは野生で食べているのは主にマメ科のアカシアが多いですし、動物園でも与えるのはイネ科の干し草よりもマメ科であるルーサンの干し草が好ましいと言われています。イネ

科植物は繊維質が豊富で胃の中の微生物の重要なエネルギーとなります。マメ科はタンパク質やミネラルが多く含まれていて健康な体を維持していくのに必要です。キリンは多くの反芻獣の中で一番体が大きく、体型も特徴的なのでタンパク質を多く必要とするのでしょうか。そんなことから、タンニンが多くてもタンパク質を優先するのだと思います。(資料によると、タンニンは第一胃の異常醗酵を抑え、鼓脹症を防ぐようです)

私たちが好きな食べ物を選ぶ基準は「成分」ではなく、ただ単に「おいしい」からですよ。動物たちも結果的にはそれぞれの動物が必要な物を摂取しているのかもしれませんが、彼らはそれを意識して摂っているわけではないと思います。彼らだって「おいしい」から食べるのでしょうか。キリンにとっての「おいしい」成分はなんでしょう……？気になります。

私は研修でタンザニアに行き、野生のキリンを見る機会を与えていただきました。残念ながらキリンだけをじっくり観察することはできませんでしたが、いろいろな経験をさせていただきました。何度か見ることができたキリンは「さすが野生！」と思う所と「動物園のキリンと同じだ！」と思うところがあってとても勉強になりました。キリンたちが採食している場面も見ることができました。サバンナ自体、樹木の多くがアカシアなどのマメ科植物で、キリンが食べていたのもマメ科の葉でした。多くのマメ科の木には棘があります。小さな棘のものもあれば、爪楊枝を思わせるような大きな棘の木もありました。キリンたちは棘があっても関係なくよく食べます。未だに不思議です。キリンの舌を何度も見たことも触れたこともあります。普通の舌です。口も他の動物と大きく違う感じはしません。なのに、棘が痛く感じないのでしょうか！棘があっても食べたいのか、棘のない木が少なくて仕方なく棘のある木を食べざるを得ないのか……。きっと前者でしょう。

当園で与えているニセアカシアも棘のある木です。小さな棘ですが、本当に痛い棘です。指に刺さると棘の先っぽが皮膚の中に残ります。そしてその残った棘から毒が出て来るかのようなジンジンした痛みが走るのです！キリンたちはその木が大好物。まずは葉を食べ、その後に棘付きの樹皮を木が真っ白になるまで食べるのです。しかも、成熟した葉よりも若い葉を好んで食べます。このニセアカシアの若葉には多くのタンニンが含まれており、毒とも言われています。

また、キハダという樹皮から整腸作用のあるオウバクが取れる木が、腸の弱いキヨミズにどのような効果があるのかの実験をしたことがありました。そのキハダ、私もちょっとかじってみました。本当に苦いものでした。さて、果たしてそのキハダの食べっぷりはと言いますと、驚くほど良く食べたのです！しかも、キヨミズだけでなく、ミライもコドモのシウンも初めて食べる木にもかかわらず、他の物を置いてまでキハダに食らいついたのです。葉っぱもついていないその棒に……。彼らの「おいしい！」

にヒットしたのでしょうか。

キハダよりも驚いたのがアカマツです。よく見かける木ですが、マツは松ヤニがあつてまさかキリンが食べるとは思っていませんでした。そもそもアカマツを与えたきっかけは、キリンの好きな樹皮はどれか実験するのに園内から 10 種類の木を集め同時に与えてどれから食べるかを観察した時のことでした。(この時のお話は「キリンタイムズ」12号にあります。京都市動物園HPでご覧になれます。) 良く食べるであろう木とこれは食べないだろうと思う木を集め、これは食べないだろうと思う木としてアカマツとナツミカンを選んだのです。ところがどっこい！予想に反してアカマツもナツミカンもきれいに食べたのです！アカマツに至っては見るからに樹皮がゴツゴツで、切っただけでヤニが出ているのに本当にまさかでした。後に調べて見ると松ヤニは主成分がテレピン油というもので、塗料や接着剤などに使われるそうで……。与える機会はとても少ないですが彼らがそれを食べて調子が悪くなったことはないです。

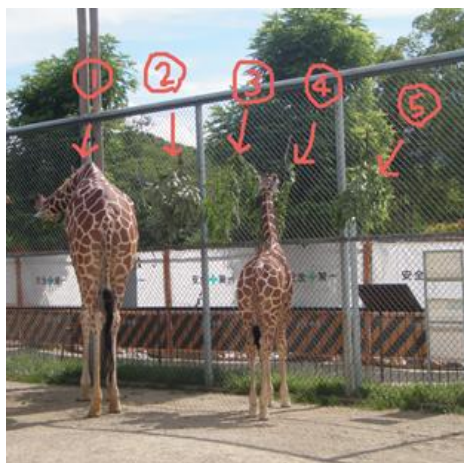
ますます彼らの味覚がわかりません。

キリンとつきあって 10 年。彼らの気持ちは少しずつわかるようになったのかとは思いますが、まだまだわからない彼らの「おいしい」が知りたい日々が続いています……。

余談： キリンは苦い！？

キリンが私の顔に触れ、その触れたところを舐めて見ると苦いのです。

ま、たいがいキリンが私の顔に触れる時は口ですから食べ物の影響ですが……



2011年7月に5種の樹木を並べて与えた様子

左：ミライ

右：シウン